

古文書解読チャレンジ講座 第三回

明治の『言上帳』を読もう

平成二十年三月 東京都公文書館

「言上帳」は、江戸町奉行所の重要公文書のひとつであり、毎月一冊ずつ作成されました。奉行所には日々多くの訴えが持ち込まれましたが、そのうち重要なものを「言上帳」に記載していました。

一日の終りに本番与力が連署して毎日奉行に提出し、奉行は必ずこの帳面に目を通して、江戸の町で何が起きているかを把握したのです。

こうした江戸町奉行所の公文書形式は、明治になつて東京府が開設された後もしばらくの間は引き継がれました。このため、東京都公文書館には、明治二年（一八六九）五月から明治四年（一八七二）二月に至る、東京府が作成した十五冊の「言上帳」が残されています。

「言上帳」に記載される内容は、盗難や火事、落し物、拾い物、行き倒れ人、捨子、家出、駆落ちなど、多岐にわたっています。明治維新初期の江戸・東京の町では、一体どんなことがおこっていたのか、「言上帳」に記された訴えを読み解いてみましょう。

【参考文献】

佐久間長敬『江戸町奉行事蹟問答』（南和男校注 昭和四二年 人物往来社）

小木新造『言上帳』にあらわれた東京の世相」（西山松之助先生古稀

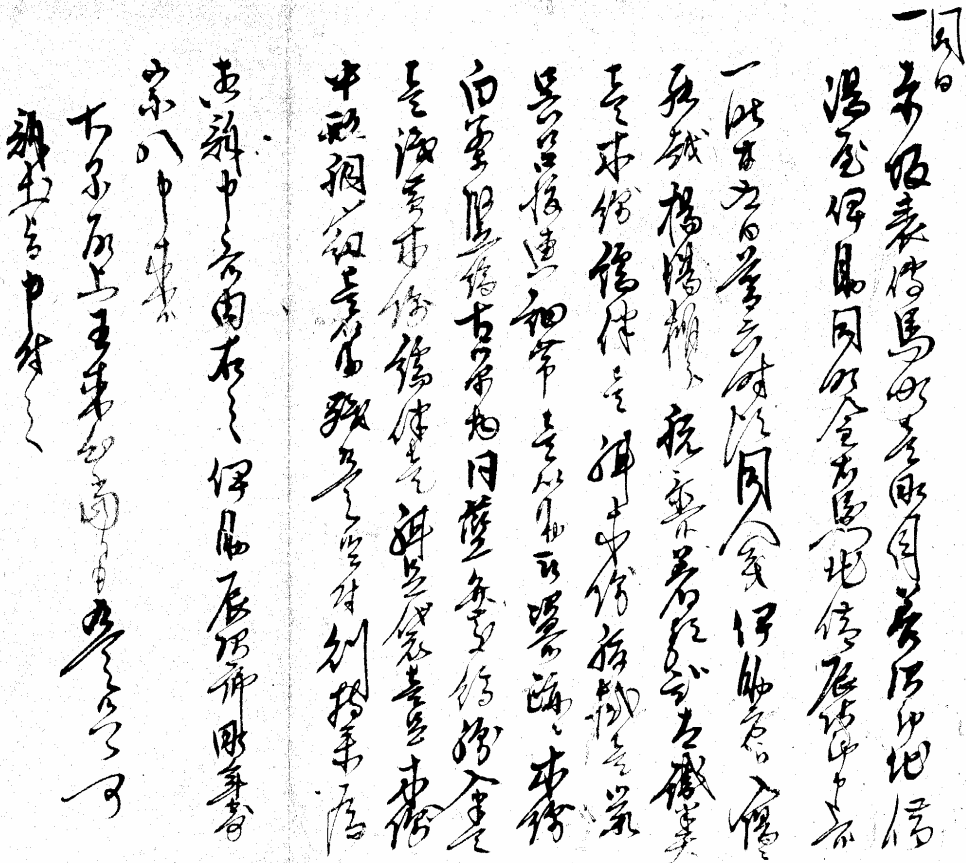
記念会編『江戸の民衆と社会』 昭和六〇年 吉川弘文館）

東京都公文書館『南伝馬町名主高野家 日記言上之控』（平成六年 東

京都）：都庁第一本庁舎三階、都民情報ルームで販売

【史料1】湯屋での板の間稼ぎ（明治二年十二月一日）

出典：『明治二年十二月 言上帳』（請求番号 634C6-1）



【史料の解説】

同日

一 赤坂表伝馬町壱町目善次郎地借

湯屋伊助同町金右衛門地借辰次郎申上候

一 昨廿九日暮六時頃同人義伊助方江入湯二

罷越揚場棚江脱置候着類式太織半天

壱木綿繻伴壱紺木綿腹掛壱鼠

吳呂服連細帶壱筋被盜候跡二木綿

白茶豎縞古単物同藍弁慶縞綿入半天

壱浅黄木綿繻伴壱紺足袋壱足木綿

中形胴ノ紐壱筋残有之候二付則持參為

御訴申上候由右之伊助辰次郎町年寄

宗八申来候

右品取上已来心当りも有之候ハ、可

訴出旨申付之

同日
 一 赤坂表伝馬町壱町目善次郎地借
 湯屋伊助同町金右衛門地借辰次郎申上候
 一 昨廿九日暮六時頃同人義伊助方江入湯二
 罷越揚場棚江脱置候着類式太織半天
 壱木綿繻伴壱紺木綿腹掛壱鼠
 吳呂服連細帶壱筋被盜候跡二木綿
 白茶豎縞古単物同藍弁慶縞綿入半天
 壱浅黄木綿繻伴壱紺足袋壱足木綿
 中形胴ノ紐壱筋残有之候二付則持參為
 御訴申上候由右之伊助辰次郎町年寄
 宗八申来候
 右品取上已来心当りも有之候ハ、可
 訴出旨申付之

【読み下し文】

同日（明治二年十二月一日）

一 赤坂表伝馬町壱町目善次郎地借り

湯屋伊助、同町金右衛門地借辰次郎申し上げ候

一 昨廿九日暮六時頃同人義伊助方え入湯に

罷越、揚り場棚え脱ぎ置き候着類式、太織半天

壱、木綿繻伴壱、紺木綿腹掛壱、鼠

呉呂服連細帯壱筋盗まれ候、跡に、木綿

白茶豎縞古単物、同藍弁慶縞綿入半天

壱、浅黄木綿繻伴壱、紺足袋壱足、木綿

中形胴〆紐壱筋、残しこれあり候に付きすなわち持参、

御訴のため申し上げ候由、右の伊助、辰次郎、町年寄

宗八申し来たり候

右品取り上げ、已来心当りもこれあり候わば

訴え出さずべき旨これを申し付く

【解釈】

赤坂表伝馬町の湯屋で衣類盗難（明治二年十二月一日の訴え）

一 昨二十九日（明治二年十一月）暮六ツ時（午後五時）頃、赤坂表伝馬町一丁目（現在の港区元赤坂一丁目二番地辺）の善次郎さんの土地を借りて湯屋を営む伊助さんのところに、同じ町内に住む辰次郎さんが湯に入りに来たのですが、脱衣所に置いた衣類が盗まれてしまいました。盗まれたのはキモノ二枚に太織半天一枚、木綿の襦袢一枚、紺木綿腹掛一枚、鼠色の呉縞服連（ゴロフクレン）舶来の粗羊毛を用いた織物）細帯一筋の計六点でした。

跡に残されていたのは、木綿白茶色の豎（たて）縞の古い単（ひとえ）物、木綿の藍弁慶縞綿入り半天が一枚ずつ、浅黄色の木綿襦袢一枚、紺足袋一足、木綿中形（ちゆうがた）浴衣によく用いられる型染めの布地）胴〆紐一筋の計五点です。

盗難を届け出たのは伊助さんに辰次郎さん、それと町年寄の宗八さんです。

残された衣類の中に綿入れが含まれていたのがせめてもの慰めですが、盗まれた着物と比較するとだいぶ見劣りするようです。

湯屋での盗難及び紛失というのは言上帳に頻繁に出ています。他の史料では下帯（〆いわゆるフンドシ）を盗まれた例もあります。盗難にせよ紛失にせよ、真冬に家までどうやって帰ったのでしょうか？衣類を借りたのでしょうか。実に気になるところです。

その上、こうして手許に残された衣類も、事件の手がかりとして東京府へ取り上げとなり、心当たりがあつたら訴え出るように申し渡されます。盗まれた人にとっては全く災難でした。